

甲斐市って住みやすい？

とある子育て世代のお母さんから「引っ越しを考えているんだけど、甲斐市って暮らしやすいんですか？」という質問がありました。甲斐市に新居を構えてもらうポイントは、ずばり「教育環境」だそうです。学習面はもちろん、安全面も大事だそうです。「子供がよるこぶ街づくり」を坂本かずゆきは目指します。

坂本かずゆき後援会 事務所

所在地：甲斐市富竹新田 455-3
電話&FAX：055-276-0040
URL：http://www.e-kazuyuki.com/
E-mail：info@e-kazuyuki.com



坂本かずゆき 甲斐市議会 活動報告

< 平成26年3月議会 一般質問内容 >



Q. 市ホームページへのSNSの導入は

A. ツイッターとラインを導入する

坂本 市ホームページが平成26年4月から新しくなるが、特徴とSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を導入するのか。

市長 特徴については、より見やすく、求める情報にいち早くアクセスできるメニューの設定や進展する高齢化社会への対応のため音声読み上げ機能など、動画機能の充実を図る。また、SNSについては、緊急時等の有効な情報発信手段として活用できることから、この機会にツイッターとラインの導入を図る。

Q. 防災行政無線メールの登録者数をどのように増やすのか

A. 登録を呼びかけるチラシの全戸配布を検討する

坂本 市消防防災対策室からの防災行政無線メールの登録者が少ないが、今後どのように増やすのか。

総務部長 防災行政無線メールサービスについては、広報誌やホームページに掲載するとともに、登録を呼びかけるチラシの全戸配布などを検討していく。また、火災発生などの放送内容の配信サービスを行うことで、登録者数を増やしていく。

坂本 防災行政無線テレフォンサービスの利用状況はどうか。

総務部長 利用状況については、平成25年度の1月末までに202件の利用があり、市のホームページで周知を図っていく。

Q. 市独自の斉メール配信システムの導入は

A. 導入することは難しい

坂本 火災時における市独自の斉メール配信システムの導入の考えはあるか。

市長 甲府地区消防本部管内と峡北消防本部管内のシステムが違うため、統一した市独自の斉メール配信システムの導入は難しい。

総務部長 防災行政無線メールによる情報メールサービスで斉配信が可能と見込まれるので、このシステムを活用していく。

大雪関連！

- ① 甲斐市の雪害被害状況は？
除雪費用が、当初150万円の予算の10倍の1600万円かかりました。
- ② 農業被害は？
ビニールハウスの倒壊や牛舎の倒壊で4200万円程の被害が出ています。
- ③ 甲斐市の救済策は？
国県と協力して、一刻も早い対応を進めます。

坂本かずゆきプロフィール(50才)

甲斐市議会議員 (2期目)
市議会会派 颯新(さっしん)クラブ代表
建設経済常任委員
議会運営委員会委員長(歴任)
総務教育常任委員会副委員長(歴任)
竜王土地改良理事
甲斐市スポーツ少年団副本部長
甲斐市スポーツ少年団野球部会会長
甲斐市消防団竜王第一分団第三部団員
元竜王東小・竜王中学校 PTA 会長

防災行政無線メール(やまなしくらしねっとに登録後、防災行政無線の放送内容を電子メールで配信)：
<https://www.e-tetsuzuki99.com/eap-pj/yamanashi/>

防災行政無線テレフォンサービス(防災行政無線の放送内容が聞き取れなかったり、再度聞きたい場合に放送内容が聞ける)：電話番号 055 (230) 6650

..... 坂本かずゆきの思うこと

「実践力=議員評価」だと考えています。聞くばかり言うばかりは、誰でもできます。市民の声に耳を傾け、その意見を取り上げて、一般質問をして、初めて市民の代弁者になります。そこからいかに政策として提言し、事業として予算化して、やっとな議員の一つの仕事になるのです。4年間でどれくらい実践したか、それこそが議員の価値そのものだと考えています。